

慈恩寺 Times

第31号

【発行】
寒河江市慈恩寺振興課
【発行日】
平成31年3月20日(水)
【問合せ・ご意見等】
寒河江市慈恩寺振興課
TEL:0237-86-2111(内線 452)
E-mail :jionjishinko@city.sagae.yamagata.jp

整備後の慈恩寺の姿は？～基本設計の策定間近～

基本設計での発掘調査～山門前石段～



元禄8年(1695)整備の石段修理にあたり、石段を取り外し、石段下の痕跡を調査しました。



石段の下には、河原石が多く埋まっていることがわかりました。裏込めとみられます。



裏込めの下には、河原石を敷いたこのような坂道の跡が眠っているかもしれません。今後の調査で明らかになるでしょう。

年度末を迎え、慈恩寺旧境内の史跡整備とガイダンス施設整備の基本設計策定が大詰めを迎えています。

史跡は土地や建物に歴史的な価値があることで、これを守り・伝えていくために指定されます。言い換えれば、土地に刻まれた歴史がよく残っている、ということです。慈恩寺旧境内は、江戸時代の様子がよく残っているため指定されました。

史跡整備は、大きく保存整備と活用整備に分かれます。慈恩寺旧境内整備では、保存整備ではこの江戸時代の様子を長く伝え、活用整備では訪れた人に史跡の理解を促せるようにしたいと考えています。

ガイダンス施設は活用整備に含まれます。この施設では、慈恩寺の史跡的な価値がより良く理解できるように、また江戸時代よりも古い慈恩寺の姿(＝現場でわからない姿が理解できるような展示にしたいと考えています。

今年度は基本設計の策定に取り組み、整備後の姿を図にしました。また、地下に影響がある場所については、部分的な発掘調査も行いました。

来年度以降は、この基本設計をもとに、実施設計を立て(必要に応じ発掘調査も実施、具体的な図面に仕上げ、その後整備工事に入ります。

なぜ発掘調査が必要なの？

慈恩寺旧境内は、江戸時代の様子が

よく残っているため指定されました。さらに地中には、それより前の慈恩寺の跡も残っている可能性があります。しかし、江戸時代のも含め、どんな跡が残っているかは分かっていません。

そのため、設計の段階で発掘し、昔の慈恩寺の跡を確認する必要があります。また、設計図を残すことで、工事内容を記録に残すことができます。

こうすることで、この昔の姿を将来に伝えられる上、発掘中に新しい発見があるかもしれません(今年の基本設計を例に、左にまとめています。

整備に時間がかかることになりませんが、慈恩寺の歴史の適切な継承のため、ご理解くださいますよう、お願いいたします。

発掘調査の成果から 上の寺遺跡第11次調査

昨年11月、市教育委員会で「上の寺遺跡」の発掘調査を行いました。上の寺遺跡は、鎌倉〜戦国時代約800〜400年前に慈恩寺の一角だったと伝えられる場所です。平成16年に県教育委員会の試掘調査以降継続しているもので、今回で第11次調査となります。

調査は11月15〜20日に2か所で実施しました。遺跡の北東では、沢跡が見つかりました。埋まっていた陶磁器の時代から、沢の埋め立ては新しいとみられます。ここは矢香沢の下流にあたり、



遺跡北東部の調査から。沢の跡が見えてきている様子です。



遺跡北西部の調査地。見晴らしがとてもいい場所にあります。

矢香沢では昭和11年に開墾が始められたと記録にあることから、ここもその頃埋め立てられたと考えられます（地元の方でご存じの方は、ぜひ情報提供ください）。

遺跡の北西では、溝延長老の墓の隣で調査しました。特に古い跡はなく、お墓を建てる頃には平らにされたものと見られます。鎌倉〜戦国時代の慈恩寺を明らかにできるこの遺跡を適切に次の世代に引き継げるよう、市教育委員会では調査を継続していきます。

なお、この調査については、3月17日(日)に行われた県教育委員会主催の「山形県発掘調査速報会2018」で取り上げられました。

イベント情報

濫觴会・一切経会

濫觴会

始まりを意味する「濫觴(らんじょう)」の名のとおり、慈恩寺祭礼の始まりの法会です。楽の音と読経が響き渡る中、本堂の宮殿を開き、本尊を清めます。

日時 5/4(祝) 20時〜

場所 慈恩寺本堂



舞楽「納蘇利(なそり)」

一切経会

一切経(全ての経典)を供養する慈恩寺最大の法会。「四箇の法要(しかのほうよう)」に続き、国指定重要無形民俗文化財の舞楽8番が、林家と慈恩寺一山衆により披露されます。

日時 5/5(祝) 13時30分〜 場所 慈恩寺本堂前庭

慈恩寺十景撮影会 国史跡慈恩寺旧境内散策

本山慈恩寺と悠久の里慈恩寺運営委員会の共同企画で、中世に詠まれた「慈恩寺十景」の地巡りや、史跡の散策イベントを開催します。十景巡りでは撮影をプロカメラマンに学べ、散策イベントでは慈恩寺の行事も見学できます。ぜひ、お申込みください。

撮影会：①4/21、②9/22
※2回で十景全てを廻ることができます。

散策：
①5/19(弘法大師御影供の日)
②9/8(柴燈護摩会の日)
※撮影会・散策ともに全て日曜日開催



問合せ

事務局 矢作(やはぎ)さん
Tel 080-8218-0457
(平日 11〜13時)